

往生山だより

◇ おお柳のように！ ◇

本日6年生14名が思い出の学舎を巣立ちます。少ない人数で、一人できくつもの役割を担い努力を重ねた6年生。登校班のリーダー、清掃班の班長、委員会、クラブ、あらゆる場面で、率先して活動し、素直さに加え逞しさも備わってきました。

クラスの雰囲気はとても明るく、担任の高橋先生をボス?!によくまとまり、**目標に向かって努力し、初めてのことに臆せずチャレンジする集団です。**この姿勢は、学校全体にも広がり、入遠野小学校の風土となりました。

今回の新型コロナウイルスの感染防止の対応等で、卒業までの珠玉の2週間で奪われた6年生の心情を察するにあまりあるものがあります。しかし、教師達の心配をよそに、子ども達は状況を受け止め、**自分たちにはできることは何か、今できることは何かを考え、**練習が始まったばかりの卒業式の確認を行ったり、未完成だった文集の編集作業を急ピッチで進めたりと、大変冷静でした。休校中も時間を割いては学校に来て校庭を走る子もいて、心身共に逞しさを増した6年生です。

本日の卒業式、練習時間が確保できず、不備な点もあるかと思いますが、児童がいない分、教職員が一丸となって準備に当たってきましたし、在校生も、休校中ですがおそらくほとんどの児童が駆けつけてくれるでしょう。6年間の集大成となる**小学校最後の授業**、全校生**69名**と、職員**13名**の思いがぎゅっと詰まった式となるはずです。

昨年度剪定したあと、依然よりも数倍元気に枝葉を茂らせている「**学校のシンボルおお柳**」のように、6年生も、中学校そして5年後10年後と、更に幹を太く自立していくことでしょう。在校生と一緒に、今後の6年生の活躍をおお柳のもとから応援したいと思います。

保護者、地域の皆様に、これまでのご支援ご協力、改めて感謝いたします。

<14名の卒業前の一言(何でもOK)>

佐藤 元春: 中学校に向けてしっかりと勉強をして、先生に言われたことと自分で考えたことをきちんとやりたい。

上遠野心音: 中学生になったら部活と勉強の両立をがんばりたいと思います。

上遠野真和: 初出場の日清カップでチームのみんなと悩みながらも、タイムを縮めていく楽しさを知りました。

久野 唯奈: 一番の思い出は、陸上大会です。なぜなら秋季大会に出場できることがとてもうれしかったからです。

神内 元太: 中学校は自転車で通うので転ばないように今、練習しています。

青柳 玲次: 中学校に向けては全てが新しくなるから、全てを全力でがんばり、分からないことがあっても過去のことを思い出してとっばします。

佐藤 優空: 中学生になったら、勉強と部活の両立をしていろいろなことにチャレンジしたいです。

根本 栖恋: 修学旅行が一番の思い出です。その中でもバスが来なくて集合時間に遅れてしまったことが心に残っています。

中西 天音: 小学校ではできるだけいろいろなことにチャレンジしてきたので、中学校に行っても自分の力が発揮できるように力いっぱいがんばりたいです。

平子 楓花: 小学校ではたくさんの方に挑戦したので、中学校でも勇気をもってたくさんの方に挑戦したいです。

佐藤 美月: 中学校では部活が増えたり、英語が増えたりするので、小学校よりもたくさん精いっぱいがんばりたいです。

鈴木 一永: 小学校で、先生に怒られたこともあったけど、この6年間を楽しんで卒業できるので良かったです。

小沼 宇宙: 中学校へ行ったら、何事にも目標を立ててがんばります。

佐藤 悠太: 小学校の思い出は、劇「白虎隊」です。とても大変だったけど楽しかったです。

卒業なのでとうとうさよならです。

卒業間近の思ももろい出来事や
その後の計画が大きくなりました。
残念なことが多く、かなもがかりし
たことでも。しかし、人生とは
何が起るかわからないものです。
現実をしっかりと見て、どうした
らよいか、何をすべきかを考えて行動
に務めます。トレーニングと考えるべきは
小学校でのこれまでの学びがきつと力
になります。強く、逞しく。

入道野小学校長 酒井修三